

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 全産業活動指数(2007年1月)

発表日2007年3月23日(金)

～第3次産業活動指数の伸びに牽引されプラス推移～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 エコノミスト 結城 良彦
TEL : 03-5221-4573

(単位:%)

		全産業活動指数											
		前期比		前年比		第3次産業活動指数		鉱工業生産指数		公務等活動指数		建設業活動指数	
		前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比
05	1-3月	1.4	1.7	1.2	2.1	1.4	1.2	1.9	2.1	0.1	▲ 2.8		
	4-6月	0.3	1.5	0.2	1.9	▲ 0.1	0.3	▲ 0.1	2.2	2.0	0.8		
	7-9月	0.2	1.7	0.4	2.2	▲ 0.5	▲ 0.2	0.6	2.0	0.7	2.2		
	10-12月	1.1	2.6	1.1	2.6	2.8	3.0	▲ 0.6	1.4	▲ 0.6	2.2		
06	1-3月	0.4	2.1	0.3	2.0	0.6	3.2	0.4	0.3	0.8	2.8		
	4-6月	0.6	2.6	0.6	2.6	0.9	4.1	▲ 0.3	0.2	▲ 0.5	0.1		
	7-9月	▲ 0.3	1.7	▲ 0.7	1.4	1.0	5.4	0.0	▲ 0.5	▲ 2.8	▲ 3.3		
	10-12月	1.1	2.0	1.2	1.6	2.6	5.7	0.8	1.0	▲ 0.7	▲ 3.4		
05	1月	1.7	2.2	1.6	3.1	1.9	1.7	1.5	2.1	▲ 0.9	▲ 5.0		
	2月	▲ 0.6	1.2	▲ 0.7	1.5	▲ 0.9	1.0	0.8	2.1	2.4	▲ 4.0		
	3月	▲ 0.1	1.7	▲ 0.4	2.0	▲ 0.4	1.0	▲ 0.6	2.2	0.7	0.1		
	4月	0.9	1.2	1.0	1.9	1.1	▲ 0.1	▲ 0.2	1.9	▲ 0.2	▲ 1.4		
	5月	▲ 0.7	1.9	▲ 0.8	1.9	▲ 0.8	1.3	0.4	2.5	1.2	1.5		
	6月	0.4	1.6	0.6	1.9	▲ 0.1	▲ 0.2	▲ 0.1	2.3	0.6	2.4		
	7月	▲ 0.2	0.7	▲ 0.3	1.3	▲ 0.9	▲ 2.6	0.6	2.1	▲ 0.1	2.4		
	8月	0.8	2.6	1.1	3.2	1.0	1.4	0.0	2.0	0.0	2.1		
	9月	▲ 0.4	1.7	▲ 0.7	2.0	0.2	0.9	▲ 0.2	1.8	▲ 0.1	2.1		
	10月	0.8	2.7	1.0	3.2	0.5	2.1	▲ 0.6	1.3	▲ 0.8	1.3		
	11月	0.4	2.7	0.3	2.7	2.0	3.4	0.2	1.5	0.5	2.2		
	12月	0.2	2.4	0.0	2.2	1.3	3.5	▲ 0.1	1.5	0.2	3.0		
06	1月	0.9	2.2	1.5	2.2	▲ 0.1	2.7	0.0	0.1	▲ 1.1	4.0		
	2月	▲ 0.8	2.6	▲ 1.4	2.5	▲ 1.2	3.9	0.8	0.6	3.6	3.8		
	3月	▲ 0.9	1.4	▲ 1.1	1.2	0.2	3.1	▲ 0.6	0.2	▲ 2.6	1.1		
	4月	1.5	2.3	1.6	2.1	1.4	3.6	0.2	0.7	0.6	1.2		
	5月	▲ 0.1	3.0	0.7	3.6	▲ 1.3	3.9	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 0.2	0.4		
	6月	0.0	2.2	▲ 0.8	2.0	2.1	5.0	0.0	▲ 0.2	▲ 1.0	▲ 1.1		
	7月	▲ 0.4	2.0	▲ 0.3	2.0	▲ 0.9	5.1	▲ 0.2	▲ 0.9	▲ 1.7	▲ 2.7		
	8月	0.5	1.7	0.4	1.2	1.8	5.9	0.0	▲ 0.9	▲ 0.5	▲ 3.0		
	9月	▲ 0.8	1.6	▲ 1.2	1.0	▲ 0.7	5.2	1.1	0.6	▲ 0.1	▲ 3.8		
	10月	1.6	2.6	2.1	1.9	1.6	7.4	0.6	1.7	▲ 0.9	▲ 3.3		
	11月	▲ 0.1	1.7	▲ 0.1	1.3	0.8	4.9	▲ 0.1	1.2	0.1	▲ 3.4		
	12月	▲ 0.2	1.5	▲ 0.4	1.3	0.9	4.8	▲ 1.2	0.2	1.0	▲ 3.4		
07	1月	0.7	1.4	1.6	1.3	▲ 1.7	4.0	0.3	0.5	▲ 2.2	▲ 3.9		

(出所)経済産業省「全産業活動指数」

○ 全産業活動指数：前月比+0.7%

1月の全産業活動指数は前月比+0.7%（前年同月比：+1.4%）と、コンセンサス通りの結果であった。今回、1月の全産業活動指数公表と同時に12月の値が前月比+0.0%から同▲0.2%へ下方修正されているため、前月比でのプラスは3ヶ月ぶりとなる。プラスに寄与した指数は第3次産業活動指数（前月比寄与度：+0.98%ポイント）と公務等活動指数（同：0.03%ポイント）で、マイナスに寄与したのは鉱工業生産指数（同：▲0.37%ポイント）と建設業活動指数（同：▲0.12%ポイント）である。1月は鉱工業生産指数がマイナス寄与となったが、ウェイトの大きい第3次産業活動指数が堅調に推移したため、全産業活動指数はプラスで推移した。

○ 第3次産業活動指数に下支えされ、先行きも底堅く推移

1月の全産業活動指数の結果を10-12月期と比較してみると、前期比+0.5%となる。10-12月期は前期比で1%を超える拡大となっていたが、1月も引き続き前月からプラスとなっており、1-3月期のGDPが潜在成長率を上回る成長となる可能性も出てきたと考えられる。

先行きのリスク要因としては、鉱工業生産指数の落ち込みが挙げられる。2007年前半は海外需要の減速もあって、鉱工業生産指数は弱含みの展開が予想されることから、1-3月期に関しては鉱工業生産指数が全産業活動指数の下押し圧力となりそうだ。もっとも、全産業活動指数が大きな調整局面を迎えるようなことはないだろう。個人消費が緩やかながら改善傾向にあることに加え、設備投資も堅調であり、内需は底堅い。また、海外景気の減速は緩やであり、年後半には復調してくると考えられる。鉱工業生産指数の落ち込みは軽微なものにとどまるとみられることに加え、第3次産業活動指数については底堅い推移が見込まれることから、全産業活動指数は今後も緩やかな増加トレンドを辿ると考えられる。

